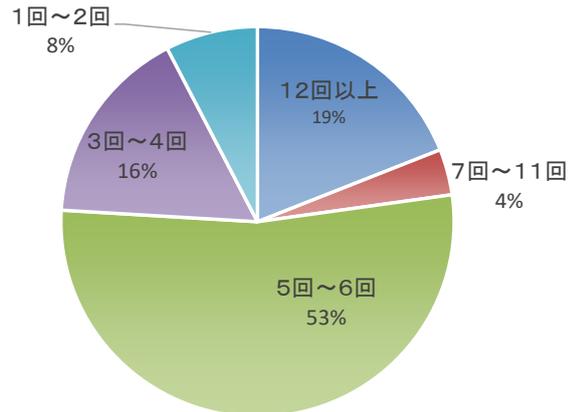


集団回収活動についてのアンケート調査結果（令和3年3月実施）

令和2年度申請団体数（調査対象）	95 団体
回答団体数	79 団体
回答率	83.2%

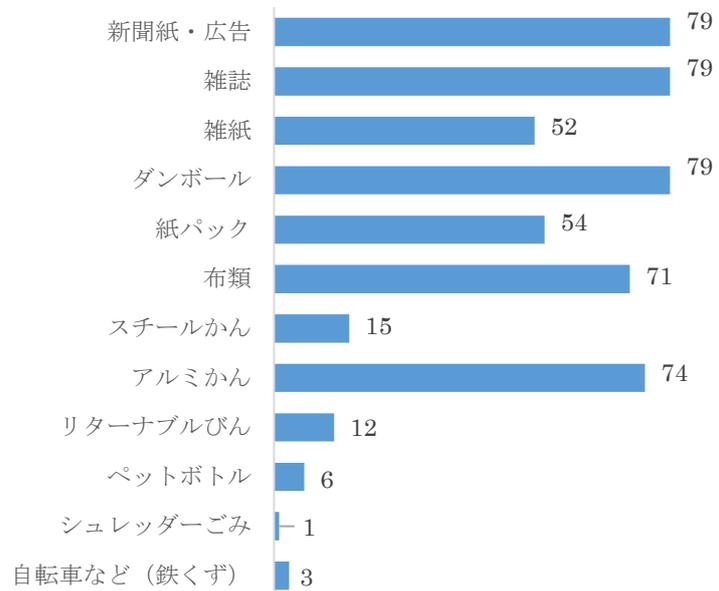
1 年間実施回数について

12回以上	15 団体
7回～11回	3 団体
5回～6回	42 団体
3回～4回	13 団体
1回～2回	6 団体



2 回収している品目について

新聞紙・広告	79 団体
雑誌	79 団体
雑紙	52 団体
ダンボール	79 団体
紙パック	54 団体
布類	71 団体
スチールかん	15 団体
アルミかん	74 団体
リターナブルびん	12 団体
ペットボトル	6 団体
シュレッダーごみ	1 団体
自転車など（鉄くず）	3 団体



※回収していない理由（抜粋）

- ・ 前年度からの引継ぎによる
- ・ 回収業者の都合
- ・ お金にならない
- ・ 排出される量が少ない
- ・ 分別が負担（空きかんはスチールとアルミに分ける） など

3 回収業者との契約単価について

	契約単価	平均単価
新聞紙・広告	1円～7円	3.8円
雑誌	1円～6円	1.7円
雑紙	1円～6円	1.7円
ダンボール	1円～7円	3.8円
紙パック	1円～11円	3.2円
布類	0円～6円	0.7円
スチールかん	0円～5円	2.8円
アルミかん	30円～80円	54.6円
リターナブルびん	0円～3円	1.5円
ペットボトル	0円～3円	1.0円

資源回収業者によって、契約単価は様々です。（回収量が多ければ単価が高くなる場合もあります。）

資源回収業者については、美化センター発行の「集団回収の手引き」で業者一覧を掲載しています。

市ホームページから「集団回収の手引き」をご参照ください。

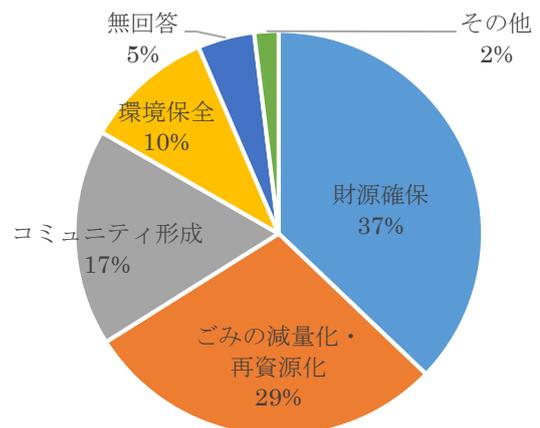


※契約理由

- ・従来から頼んでいる業者のため ・地元業者だから
- ・業者選定による（見積の単価が良かった） ・引継ぎによる
- ・業者に直接持ち込みするため単価が高くなる など

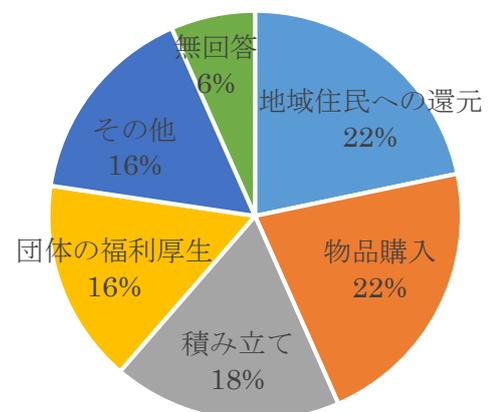
4 集団回収を行う目的（複数回答可）

財源確保	58 団体
ごみの減量化・再資源化	45 団体
コミュニティ形成	27 団体
環境保全	16 団体
無回答	7 団体
その他	3 団体



5 市からの奨励金の使い道（複数回答可）

地域住民への還元	23 団体
物品購入	23 団体
積み立て	19 団体
団体の福利厚生	17 団体
その他	17 団体
無回答	7 団体

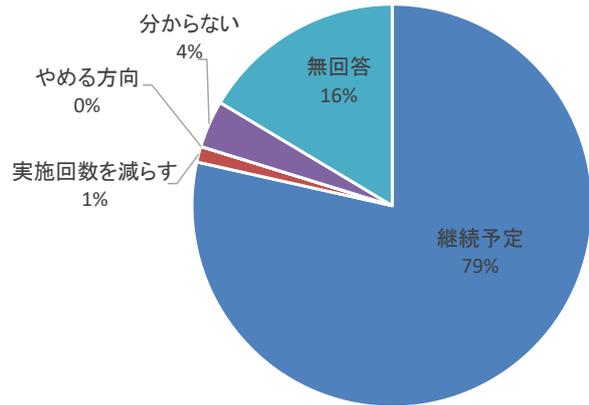


※具体的な使い道（抜粋）

- ・子ども会活動費（祭り、イベント）
- ・自治会、老人会活動費
- ・ごみステーション用ゲージや一斉清掃時の消耗品購入費 など

6 今後の活動の動向について

継続予定	62 団体
実施回数を減らす	1 団体
やめる方向	0 団体
分からない	3 団体
無回答	13 団体



7 集団回収活動全般のご意見について

- ・ 業者の引取単価が低下しており、市の奨励金は現状を維持してほしい。
- ・ 業者の買い取り単価が下落した時があったが、市の助成金があり助かりました。
- ・ 市からの奨励金は本当に助かっています。
- ・ 市の助成金はありがたいので、今後ともよろしくお願いします。
- ・ これからも継続して資源化の推進を行っていく。
- ・ 市からの奨励金は、貴重な子ども会の財源ですので、今後も可能な限り、続けたいと思っています。
- ・ 子供会への加入が少なく、ギリギリの状態で開催しており、自治会、市のご協力があればと願います。
- ・ 子ども会が存続する限りは続ける方向ですが、存続が難しくなっている現状があります。
- ・ 子ども会役員の負担が大きく、現在は自治会中心の共催として活動に変えたことで負担軽減を図り、毎回多数の参加で活動ができている。継続させるためにも負担軽減に工夫が必要と思う。
- ・ 従来、子ども会が実施していたが、会員数の減により自治会とボランティアで実施している。（地域のコミュニケーションの場になっている）
- ・ 継続したいのですが、子ども会の会員数の減少により継続していけるか不明。
- ・ 回収業者は時々変える必要があると思う。
- ・ 自治会の会員が目的に向かって、何かをなしとげる喜びときずなを目的として実施しています。
- ・ 申請手続きを簡略化できないか。
- ・ 収入が少ない（会員全員の行事には）
- ・ 空きびん、スチールかんの回収もしてほしいとの声があります。
- ・ 最近回収量が減少した（以前の半分）
- ・ ごみの日に資源物を出す人がいて、集団回収奨励金の意味を理解されている人が少ないように思う。
- ・ 市の分別収集では資源物の集積場所まで遠く運ぶ必要があるが、集団回収では自宅の玄関先に出せばよいので、高齢化が進む中、重たい新聞等を運ぶことは負担であり、集団回収の継続は必要である。引き続き集団回収活動の支援をお願いしたい。

など

アンケートにご協力いただきありがとうございました。